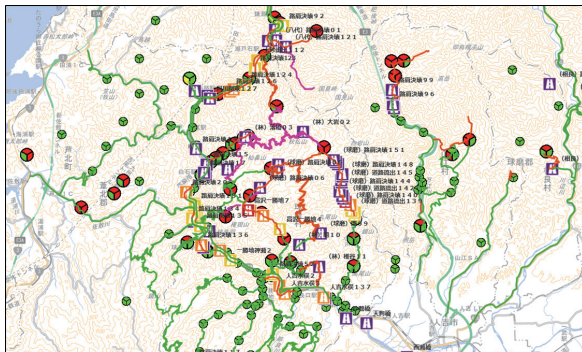




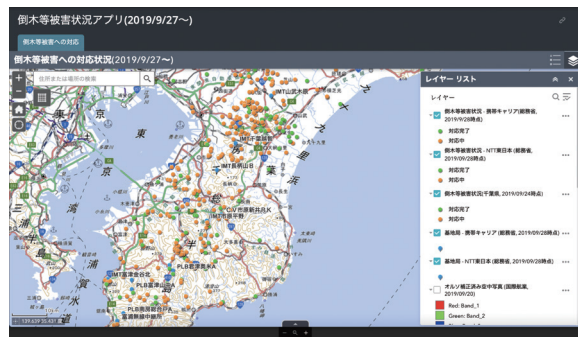
## ISUTが作成した地図の事例

### 令和2年7月豪雨 熊本県孤立集落発生



被災集落ごとのライフラインの復旧状況が一目で分かるような地図を作成したことで、ライフラインの復旧支援、集落の今後のあり方の検討に活用されました。

### 令和元年房総半島台風 千葉県倒木等被害



県や電力会社が個別に保有していた千葉県内の倒木等や電柱の被害を一つの地図に集約したことにより、被害の全貌が明らかになりました。

110°

120°

130°

140°

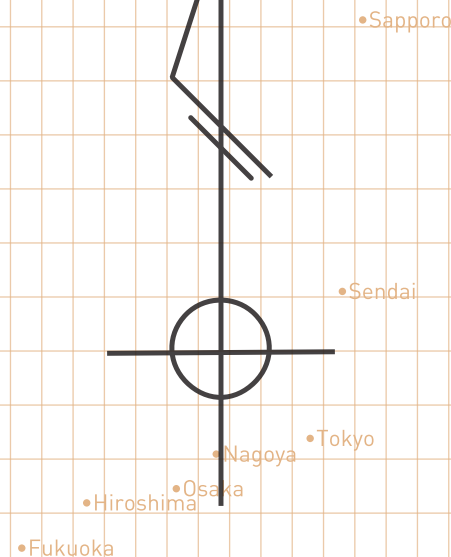
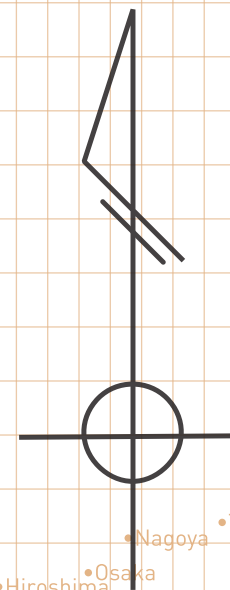
150°

災害から  
地域を守ることを使命とする  
すべての人へ。



### ポスター及びリーフレット表紙の 方位記号について

「方位記号」はISUTが作成する「地図」を象徴しています。1953年に地質研究所(現在の地質調査総合センター)が定めた「4の字方位記号」は方位磁針が示す北(磁北:地域、時期によって異なる)を表し、教科書等、日本で広く使われています。ISUTが作成する地図がその地域、時期によって様相の変わる災害対応の旗印となるという意味を込めています。



### アクセス情報 ISUTサイトへのアクセス

- 災害対応機関限定  
(指定行政機関、地方公共団体、災害対策基本法に基づく指定公共機関)

URL

ID

パスワード



内閣府

内閣府 政策統括官(防災担当)付  
参事官(防災デジタル・物資支援担当)付  
ISUT担当 TEL:03-3503-2231  
✉ isut@net.bousai.go.jp

ISUTは「情報収集」と「情報の地図化」により  
災害対応を地図で支援するチームです。

**ISUT**  
Information Support Team

40°

30°

20°

# 災害時、情報を「指針」とするためにISUTがお手伝いします。

ISUTは大規模災害時に都道府県の災害対策本部等にて、各自治体のニーズに応じた「情報収集」と「情報の地図化」を支援するチームであり、内閣府と国立研究開発法人防災科学技術研究所のメンバーで構成されています。ISUTの地図は、主にシステム連携により自動で集約される情報と、ISUTが現地で直接入手して集約される情報をもとに作成されます。

ISUTが作成した地図はISUTサイトと呼ばれる専用サイト等を通して災害対応機関に共有されます。ISUTが派遣されるのは基本的に都道府県ですが、市町村においてもISUTサイトを通して地図情報を活用することができます。ISUTサイトには、平時から常に開設しているサイトとISUT派遣時に開設する災害ごとのサイトがあります。

**ISUT**  
Information Support Team

アイサポート: Information Support Team  
災害時情報集約支援チーム

## 災害時 ISUTが取り扱う情報の一例

### ハザード関係

- 気象関係情報(警報・注意報、降水量、降雪量、台風進路等)
- 地震情報(震度等)
- 土砂災害情報(危険度分布、発生箇所等)
- 洪水情報(危険度分布、発生箇所等)
- 火山情報(降灰予報)

### 被災状況関係

- 人的被害
- 建物被害
- 交通(道路交通規制情報、車両通行情報、鉄道運行等)
- ライフライン(停電情報、ガス供給停止等)
- 通信(携帯電話通信障害エリア)
- 画像・動画情報(航空写真、衛星写真、ドローン等)

### 災害対応関係

- 避難所(開設状況、位置、避難者数)
- 物資拠点(広域物資輸送拠点位置、地域内輸送拠点位置)
- 医療施設(災害拠点病院、有床病院の位置、支援要否)
- 災害廃棄物(仮置き場の位置、受入状況)
- ボランティア(市町村別の募集状況)

## 災害時 ISUTによる地図作成支援の流れ

Input

情報集約



Share

地図化



Output

共有

各組織が所有する災害情報を集約

- システム連携により自動で情報を集約
- ISUTが現地で直接入手し集約
- 形式が異なる情報もISUTが調整

ISUTサイト上で重ね合わせ・地図化

- 地図情報の選択が任意に可能
- ニーズに応じて複数の地図を重ね合わせ

様々な場面(会議や現場)で共有

- 可視化情報に基づき状況認識を統一
- 各機関が重複なく効率的な作業分担を行うための判断材料に活用

平時

## ISUTによる様々な支援

ISUTは大規模災害時のみならず、平時からも様々な支援を行っております。例えば、以下のよう  
な支援があります。

- ①各機関が実施する防災訓練での地図作成
- ②ISUTに関する講義での講師派遣
- ③ISUT活用のための研修開催

その他、ISUTが派遣されないような災害においても、遠隔で地図作成の支援を行います。お気軽にお問い合せください。

ISUTサイトでは、平時から、過去の災害時に作成されたISUTサイトの閲覧やISUTの地図作成事例集、その他ISUTからの各種情報を閲覧することが可能です。また、平時からデータ整備をしておくことで、災害対応時にISUTをすみやかに活用することが可能です。

平時のデータ整備が望ましい情報

避難所 物資拠点 有床病院 災害廃棄物仮置場

など